



平成28年 7月28日

各 位

会 社 名 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 一 正
(コード番号：6063)
問 合 せ 先 取締役副社長 前川 義 和
(TEL. 03-3811-8121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成28年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,382	23	19	15	6.36
今回発表予想(B)	1,334	95	62	40	16.36
増減額(B-A)	-48	72	43	25	
増減率(%)	-3.5%	313.0%	226.3%	166.7%	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期第2四半期)	1,346	78	77	63	52.24

2. 修正の理由

【第2四半期累計期間の連結業績予想値の修正】

売上に関しましては、円高の進展等により、海外出国者数にここ数年の落ち込みからの回復の兆しが見られたことから医療アシスタンス事業は堅調に推移したものの、第1四半期の官公庁向け事業の売上の減少があったため、結果として前回発表予想を若干下回りました。

一方、円高により海外センターコストが抑制され、また、当社の本年度の目標である「オペレーショナルエクセレンス」の取組みにより効率的な業務運営が図られたことから費用が抑えられ、営業利益は前回発表予想を上回りました。

また、当社は海外の医療機関への立替金払いのための外貨を一定金額保有しておりますが、その外貨について決算時レートが取得時レートよりも円高になったことで為替換算差損が発生しましたが、結果として経常利益も前回発表予想を上回りました。

【通期連結業績予想値について】

各事業とも業績は順調に推移しておりますが、下期は、テロ等の頻発による海外不安により出国者数の大幅な減少が懸念され、また、第2四半期に海外旅行保険付帯サービスの一部不採算契約の更新を見送ったため、売上の伸びが当初予想を下回る可能性があります。

また、為替レートは現在の円高が継続すると予想しているものの、円安時に1ドル118円近辺で為替ヘッジを行ったため、今期は円高の好影響が業績にフルで寄与するには至っておりません。第2四半期と同様の理由で為替差損が出る可能性もあります。

以上のように現状では業績に影響を与える外部要因の変動を読みきれない為、現段階での通期連結業績予想値の修正は行なわないものいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上